

ME 化時代の現場ニーズに応える 向上訓練コース開発

『NC機作業者のための加工技術コース』

ME 化時代の現場ニーズに応える
向上訓練コース開発プロジェクト

序 文

今日、わが国公共職業訓練は、在職者のための向上訓練に、ひとつの大きな可能性を見いだしつつある。

ME化に代表される現代の技術革新は、生産現場で必要とされる労働能力に複雑な構造的変化をもたらした。世間一般の論調を見てみると、まだマイクロエレクトロニクスそのものに注目し、プログラミング・情報処理の能力を重視する傾向が強い。確かに、ME化された機器の操作に精通することが重要であることは言うまでもない。しかし、丹念に企業現場の実態を調査してみると、ME化がもたらしている労働能力問題は、さらに複雑な構造を持っていることがわかる。

本報告書にまとめられた研究がとらえた企業現場の訓練ニーズは、数値制御化された工作機械の作業者に、プログラム化すべき切削加工技術の実力を付与する教育であった。報告書が詳しく述べているように、今日、企業はNC機を導入しているというだけでは業績を上げることができず、NC機をいかに高度に活用するかを迫られている。そのためには、加工条件等、プログラム内容に関する工夫、判断の力が重要になるのだが、NC担当者が若年化し、汎用機経験が乏しくなっている中で、企業はこの点の教育に頭を悩ませているのである。汎用機部門がさらに減少していくと、今後、この傾向はますます大きな問題となっていくであろう。これからの公共向上訓練の、ひとつの基本的な役割と可能性を考えるためにも、本報告書に対する多くの方のご意見ご批判を切にお願い申し上げます。

最後に、当プロジェクト研究に対し、全面的な協力、バックアップをして下さった、三川前所長以下、松本技能開発センターの職員の方々に心からお礼申し上げます。

昭和63年 6月

職業訓練センター所長

多賀谷 敏 夫

研究メンバー

1. 研究委員

御子柴 庚 一 (松本技能開発センター 指導員)

大 村 勤 (松本技能開発センター 指導員)

杉 本 令 而 (松本技能開発センター 指導員)

西 沢 史 次 (松本技能開発センター 指導員)

2. 職業訓練研究センター

開発研究部

藤 沢 翼 也 (機械系訓練研究室室長)

高 田 芳 紀 (機械系訓練研究室研究員)

木 村 陽 一 (機械系訓練研究室研究員)

基礎研究部

小 原 哲 郎 (訓練需要研究室研究員)

調査研究報告書

第 45 号

**ME 化時代の現場ニーズに応える
向上訓練コース開発**

『NC 機作業者のための加工技術コース』

発行	1988年 8 月
発行者	職業訓練研究センター 所 長 多賀谷 敏夫 〒229 神奈川県相模原市相原1960 電話 0427-61-9911(代)
印刷	株式会社 日 相 印 刷 神奈川県相模原市麻溝台3047-1 電話 0427-48-6020(代) FAX 0427-48-6126